

有頂天家族

—二代目の帰朝—

原作 森見登美彦(幻冬舎文庫刊)

脚色／宮本 敦 演出／大谷賢治郎(company ma) 演出助手／奥洞 昇
美術／永島梨枝子 音楽／茨木新平 照明／永山康英(永山照明事務所) 舞台監督／藤田光平
浪曲師／真山隼人 曲師／沢村さくら
制作／古賀恵子 荒木千尋

狸と人間と天狗が三つ巴で暮らしている現代京都。そこにかつての大大天狗の息子が百年ぶりに帰朝して、洛中に緊張が走る。その陰で人間たちは狸鍋を画策し、狸界を追われた古狸や麗しの半天狗も暗躍する。

亡き父に倣い「面白く生きるより他にすべきことはなし」を信条とする下鴨矢三郎は、狸でありながら一介の狸であることを潔しとせず、三つ巴のことごとくに首を突っ込み、自分にとっての「面白きこと」を探索していく。



撮影／田嶋 哲